

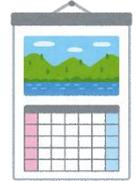


☆進む学習…自主学習で効果的な復習を

休校期間が明け、一ヶ月が経とうとしています。学校生活のリズムも徐々に取り戻してきたところでしょうか。それぞれの学年で休校中の学習の復習が終わり、次の学習へ進んでいます。不安を残したまま次の学習に入ることや、苦手なまま次の学習に入ることあるかと思います。そこで、自主学を効果的にすることで、苦手な学習が少しでもできるようになってほしいと思います。復習をより良いものにするために、次のポイントを意識して取り組んでみましょう。

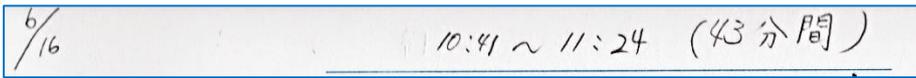
自主学をするときの3つの基本ポイント ~児童のみなさんへ~

自主学をするときの一番の目標は、自分ができなかったことや苦手だったことをできるようにすることです。まずは次の3つのポイントを意識して、これまでの学習の中でできなかったことをできるようにしましょう。

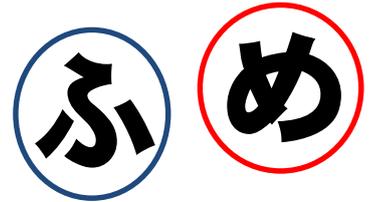


①日付を書こう! (はじめと終わりの時間も書こう。)

日付を書くことで、いつ、どれだけ学習したのかを振り返ることができます。また、時間を書くことで、集中して学習しようという意識がもてたり、時間をかけて最高の自主学ノートができたという達成感ももてたりします。(ダラダラは禁物×)

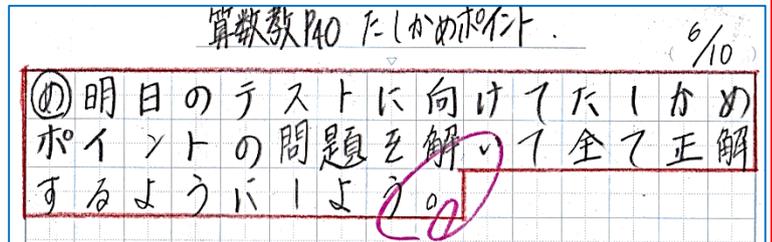


(ノートに書かれた日付と時間)



②めあてと振り返りを書こう!

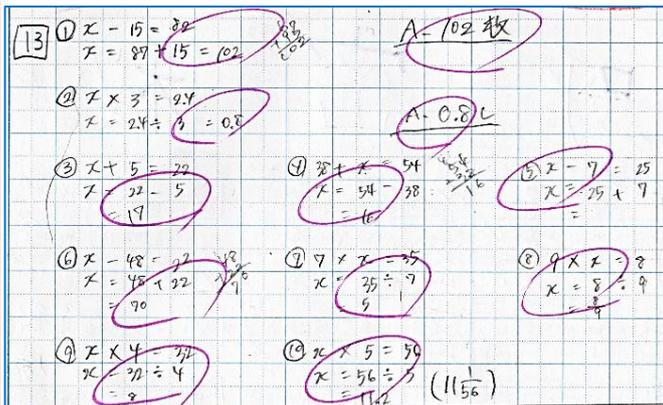
その日の自主学で、何ができるようになればいいのかという「めあて」と、本当にそれができるようになったのかという振り返りを書くようにしましょう。



(ノートに書かれためあて)

③自分で丸付けをしよう!

特に漢字の復習や算数の復習では、ドリルを使うことが多くなるとおもいます。ドリルを使った学習では、自分で丸付けをして、間違えた問題は、なぜ間違えたかを考えてまとめておくと、次やるときには間違えないように意識することができます。



(丸付けがされた自主学ノート)

プラスワンステップ 自主学習サイクル + ①STEP! 「できた!」を増やす学習サイクル

しょうかい

1. 自分でテストをする。
2. 丸付けをして、課題を分析する。
3. 苦手なところやまちがった単元を練習する。

やり方はシンプル! 中学年でも慣れれば活用できます。

※自主学習は2年生の後半頃から予定しています。